

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 9月定例会

9月13日(水) 当所にて9月定例会を開催した。会員16名、オブザーバー3名、和光大学学生3名の参加を得た。講師には、和光大学 経済経営学部教授 原田 尚幸氏を迎えた。スポーツビジネス、スポーツマーケティングがご専門の講師に、「東京オリンピック後を考える～ロンドン、ブラジルの事例を踏まえて～」と題して講演をいただいた。

日本オリンピック委員会プロジェクトメンバーでもあった講師ならではの視点から、東京オリンピックが抱える課題について考察された。

具体的に、過去にオリンピックを開催した国について、開催前後のGDPの変遷や外国人観光客の推移について、データを示しながら説明さ

講師の原田氏



熱心に耳を傾ける参加者

れた。そのうえで、オリンピック開催翌年の景気は要注意であること、外国人観光客を対象としたビジネスを視野に、HPや国内施設等の外国語表記の重要性、また海外投資家の動向も興味深い視点であることなどが語られた。

そして、東京オリンピックは後世に何を残すのか、大会をきっかけにどんな日本になっていくべきか、課題を投げかけられた。

IOCでは2024年、2028年の開催国を同時発表という異例な発表を行った。オリンピックがどのような状況にあるのか、参加者は興味深く耳を傾けた。

その後の懇親会は、講師の原田教授も参加いただき、終始和やかな交流会であった。

## 9月分科会

9月7日(木)、午後6時30分より中原市民館第1会議室にて、9月分科会を開催した。会員3名、和光大学生4名の参加を得た。

今回は、「大人向けマジック講座」というテーマで、マジシャン指江彬氏に講義いただいた。指江氏は、和光大学卒業生で、現在川崎や久喜にて活動している若手マジシャン。当会30周年記念祝賀会ではテーブルマジックを披露、祝賀会を盛り上げていただいた。

講座では、カレンダーやスプーンを使ったマジックを用いて、通常とは違った視点の使い方について説明いただき、参加者は大変興味深く耳を傾けた。懇親会では、よりわかりやすくトリックの使い方や簡単な輪ゴムを使ったトリックなどを教えて頂き、終始和やかな



講師の若手マジシャン 指江彬氏

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191